

(編集後記)

昨年12月から今年の2月上旬にかけ札幌もずーと寒さが続き、ニセコや富良野などのスキー場はパウダーを求めるスキーヤーで賑わっていることだろう、さっぽろ雪祭りも雪像が融けることなくよかった、と思っていた矢先に一気に気温があがり、道はぐちゃぐちゃになりました。北海道の冬はいつも大変です。

25回目となったフォーラムは日高山脈襟裳国定公園の国立公園化についてのテーマとなりました。昨年まで2年間に亘って日高山脈の山小屋とトイレの実態調査を実施しました。地元の山岳会や自然保護団体が市町村と連携し、小屋とトイレの維持管理に献身的に取り組んでいることが分かりました。それぞれの地域で、それぞれ独自の方法を考えて取り組んでいました。国立公園化に向けて、そのアイデア、知見が共有されれば、日高山脈の将来は明るいと確信します。

当会は北海道の山のトイレ問題の解決に、多くの仲間の協力を得ながら二十数年間取り組んできました。その知見も日高山脈に生かされることができたらと思っています。

大雪山国立公園には多くの外国人が訪れるようになりました。インバウンド登山者にいかにして携帯トイレを使ってもらうかの対策にも力を注ぎたいです。

今年も多くの方から寄稿をいただきました。お忙しい中、原稿を書いていただいた皆さまに心からお礼申し上げます。

(2025年2月吉日 仲俣善雄)

第1回～25回までの山のトイレフォーラム資料集は全て
当会のホームページに掲載されています。

第25回 山のトイレを考えるフォーラム 資料集

発行：山のトイレを考える会
発行日：令和6年3月9日

(事務局)

〒004-0061

札幌市厚別区厚別西1条2丁目3-18

電子メール hokkaido@yamatoilet.jp

ホームページアドレス <http://www.yamatoilet.jp>

本資料集は(一社)コンサベーション・アライアンス・ジャパン(CAJ)の
「アウトドア環境保護基金」の助成金で作成しました